



八戸高専だより

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校 発行

〒039-1192 青森県八戸市田面木字上野平16番地1

TEL 0178-27-7223 (総務係)

FAX 0178-27-9379

E-mail somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

URL <http://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

第156号

令和元年8月



目

次

「KOSEN英語」の展開と実践を目指して	1
3主事から	2
新入生紹介	3
1学年主任から	7
授業参観日を終えて	7
専攻科新入生紹介	8
今年の編入生・留学生紹介	9
新任教職員紹介	12
北辰寮から	13
相談室から	14
国際交流活動	15

COC/COC+事業	16
図書館の今年度の予定	16
男女共同参画委員会から	17
キャリア教育・支援センターから	17
就職・進学状況について	18
学生表彰	19
第72回青森県高総体結果	20
第56回東北地区高等専門学校体育大会結果一覧	21
授業料等の納付について	23
学生課学生係からのお知らせ	23
令和元年度 公開講座	23

「KOSEN 英語」の展開と実践を目指して

八戸工業高等専門学校長

圓 山 重 直

(まるやま しげなお)



八戸高専に赴任して3年目となります。学生諸君には、挨拶をするよう指導して2年が経ち、皆さんが挨拶をしてくれるようになりました。元気に挨拶する学生をお客様から褒めてもらい、校長として大変嬉しいです。挨拶は社会人の基本です。これを卒業してからも継続してほしいと思います。

本年度は、地球温暖化により暑くなった八戸の夏でも快適に授業が受けられるように、講義室にエアコンを導入することができました。記念会館を大幅改修して、2クラス合同講義ができるようになりました。教職員の努力で、教育研究環境も少しずつ改善されています。

本年度から、1, 2年生にタイからの留学生が入学しました。これから、毎年2名のタイ人留学生が1年生として入学します。この学生は、チュラポーン王女サイエンスハイスクールというタイでもトップクラスの学校から選抜・派遣されています。

こうした本校の国際的な取り組みが評価され、留学生と日本人学生と一緒に生活する、混住国際寮が整備されます。この寮は、個室と共同室があり、キッチン・シャワー・トイレもフロアごとにあります。

高専卒業生のアンケートによると、企業に就職してから「英語をもっと勉強しておけば良かった」という意見が多いです。国立大学や大学院に進学した学生も、英語力の不足で苦労しているという声が聞こえます。

高専生を目指す英語は、中身のない流暢な英語ではありません。専門力や技術力を持ち、説得力のある英語コミュニケーションができる能力です。私たちはこのような英語力を「KOSEN英語」と言っています。そのためには、英語力と共に専門学力をつけることが肝要です。大学入試で高得点を取り、ペラペラの英会話では意味がないと思います。

KOSEN英語を実践するためには、国際自主探究など、本校の海外プログラムを有効に活用することも重要でしょう。海外に行くと、限られた英

語力でもなんとかコミュニケーションできることを実感します。

しかし、専門的な会話をしたり、英語の文献を読んだり、英語の論文を書いたりするためには、初歩的な英語力では不十分です。学生諸君の専門力向上に応じて、必要とされる英語も高度になるのです。

皆さんが、将来コミュニケーションをする相手は、多くが英語を母国語としない外国人です。発音の日本語なまりが強くとも、内容がしっかりしていれば、お互いの信頼関係を築くことができるのです。

では、どうしたらそのような力がつくのでしょうか。英語の授業をまじめに受けるだけでは到底足りません。本校では、これから英語教育に重点を置きたいと考えています。しかし、高専カリキュラムの制約から、現在の英語授業を著しく増大させることは難しいのが現状です。現在、皆さんの英語コミュニケーション能力を向上させる方法を検討しています。

私は、多くの高専生のように、学生の時には英語が苦手でした。英会話のカセットテープを聴いて通学したことがあります。寝る前に好きな小説の英語版を枕元において、少しずつ読みました。最初のうちは、1頁も読まないうちに深い眠りにつくことができました。留学生と友達になり、英語で話をする度胸をつけたこともあります。

皆さんも独自に時間と方法を見つけて、英語のコミュニケーション力をつけましょう。好きな漫画の英語訳を勉強することでも良いかもしれません。

いま、日本の主要産業は海外に展開しています。皆さんが企業に勤めると、海外に出張・滞在して、現地の人たちと協力してプロジェクトを行うことになります。そのためには、KOSEN英語を身につけることが必須となります。また、自主探究のプロセスや国際自主探究プログラムの経験は、国内外で活躍するグローバルエンジニアとなる皆さんにとって大変役に立つと確信しております。

3 主 事 か ら

秋学期について

教務主事

武 尾 文 雄

夏学期の授業も終わり、9月末の答案返却期間を経て10月から秋学期が始まります。秋学期の集中演習科目と自主探究の実施方法が少し変わりますのでお知らせします。

集中数理演習の内容は数学のみとなり、通常のクラスでドリルを用いた演習を実施します。数学の先生が各クラスを巡回して解説等を行います。集中英語演習は、学年ごとの到達レベル別クラス編成となり、テキストを用いた英語教員による英語基礎固めの授業を行います。英語を得意とする学生のクラスは、専門科目の教員による自主探究の英語プレゼンテーションを目指した内容が中心になります。いずれの科目も、進級に直接関わる科目群から除外し、試験の成績を中心とした成績評価が行われます。得意な部分は伸ばし、きちんと理解できていなかった基礎をじっくり復習できる機会ですので、自分のために活用して下さい。

自主探究では、低学年のSPDを希望者による届け出制に変更します。待ち時間を減らして効率よく発表を行えるようにするためです。また、夏季休業明けに「計画発表会」の1分間プレゼンが、10月末には体育館での「中間発表会」が新設されます。これからの夏季休業を十分に活用して活動計画を練り、秋学期はじめの計画発表会に備えて下さい。詳細は9月30日の校長講話後に行われる自主探究Day5で説明します。

令和時代に活躍できる高専生

学生主事

長 谷 川 章

新たな元号「令和」が始まりました。学生の皆さんも、新時代に向かう気持ちで勉学や課外活動に取り組んでいると思います。さて、今年度の実践目標は、「1. 自己理解を通じて個性を伸ばそう、2. ルールを尊重し、他者へ思いやりのある行動をしよう、3. 学習と課外活動を両立させた学生生活を送ろう」です。本校では、全国に先駆けて4学期制や自主探究活動、国際交流活動など既存の教育方法の枠にとらわれない新しい取り組みを実施しております。そこで、本校学生に心がけてほしいことを実践目標に掲げました。1. の目標

では、キャリアプランを立てるため、自己理解をはかり、自分の個性や才能を見出し、それを伸ばしていこうという考えです。総じて能力の高い本校学生が、明確な将来ビジョンを描き、自分の個性や才能を見出し、それを磨き上げることができれば技術者として、社会人として活躍が期待できます。2. は、学校生活の中でルールを守り、他者への配慮に欠けた言動は厳に慎もう、いじめは断固として許さない校風を作っていこうという目標です。3. は、大きく変わろうとしている課外活動の取り組みに関する目標です。課外活動の在り方は、高専機構から明確な指針が示されました。現在、この指針に則った本校課外活動の方向性を検討しております。文武両道を旨に「令和時代に活躍できる高専生」を目指し、研鑽を積んでください。

より良い北辰寮に向けて

寮務主事

釜 谷 博 行

今年度から寮務主事を務めることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。昨年度までは電気情報工学コース長として、就職を担当しておりました。企業の方との面談の中から、寮生活での経験は社会的に非常に高く評価されているようです。中学卒業後から親元を離れての寮生活はとても辛いことだと思いますが、少しずつでも良いですので慣れていっていただければと思います。

さて、北辰寮では、現在約330名の学生が生活を共にしています。さまざまな規則や制約、施設面も決して恵まれていませんが、その中で、皆が気持ちよく過ごせる環境が創れるかどうかは、お互いの協力と努力にかかっています。わがままは許されません。他者を思いやる気持ちをもって生活して欲しいと思います。

今年度から国際寮がスタートし、現在L棟とB棟1階に入居しています。日本人学生も留学生と同じフロアで生活を共にしながら、文化・習慣の違いを肌で感じ取っているところです。最初の頃は少なからずトラブルもありましたが、今はようやく落ち着いて生活できているようです。

寮務委員の先生ですが、若い方から経験豊富な方まで多彩な顔ぶれが揃っております。少しでも気になることなどがありましたら、気軽に声を掛けて相談していただけたらと思います。寮全体のことを考え、皆さんでより良い寮を創っていきましょう。

新 入 生 紹 介



あるがままに

L1 担任 蝦 名 謙 一

春学期、夏学期と保健体育の授業がなく、毎日のSHRでの顔合わせで、なかなか一人ひとりを覚えられず、個人面談などをして、ようやく覚えてきている今日この頃であります。

入学して3ヶ月が過ぎました。入学当初から見れば、寮生活や学校生活に、大分慣れてきたようでもあります。ひとりひとり、クラスの友達もだいぶできたようです。この頃、にぎやか過ぎるクラスになりましたが、「親しき中にも礼儀有り」と申します。授業と休み時間の区別をしっかりと、友達を思い、育まれていく中で、それぞれに自分を律しながら自立を目指し、自分で、よく考えて、判断して、行動した成長を願います。

「学校に来る」「授業で寝ない」「教員室を訪ねる」の学級目標のもと、今のところ様々な活動をよくこなしております。毎日の自分の生活の中で、無理のないリズムをとり、しっかり睡眠時間をとって、授業で覚えるような生活を心がけて、自分の夢に一步步近づいてほしいと願います。



担任の自主探究風景

L1の一員として

電気情報工学コース1年

河 村 宗 哉

(八戸市立第一中学校出身)

入学してから早くも3か月が過ぎようとしています。今思えば早かったけれどもなかなか濃い3か月でした。

私たちのクラスL1は非常ににぎやかで個性的なクラスです。にぎやか過ぎるあまり、たまに収拾がつかなくなってしまうときもありますが、みんなで楽しく過ごしています。

私は中学校ではリーダーとして活動していたも

のの、人とコミュニケーションをとることは苦手です。1人で過ごすことが多くありました。しかし、L1の明るさとにぎやかさのおかげで友達と行動することが増え、毎日が楽しいです。

これから生活していくうえでたくさんの困難や楽しみが待っていると思います。そのたびにみんなと力を合わせて乗り越えていければいいと思います。



クラス連絡委員による SHR 風景

高専生活の今とこれからしたいこと

機械システムデザインコース1年

竹 中 雄 飛

(青森市立新城中学校出身)

僕は、最初友達が作れるか心配でした。なので思い切って隣の席の人に話しかけました。話しかける時は、勇気がいりましたが今ではみんな楽しく学校生活を送っています。

そしてとうとう来て欲しくないものがきてしまいました。テストです。そして赤点の高さにもびっくりしました。赤点をとらないように中学校のときより勉強しました。テストが終わり自分の勉強のしなさを実感しました。

なのでこの後悔を夏学期に向けてこれから勉強を頑張っていきたいと思いました。そして部活の大会もあるのでそこでもいい経験を積んで自分の糧にしていきたいと思いました。この2つを頑張って文武両道で生活していきたいです。



自主探究 day 風景

新 入 生 紹 介



手に手をとってクラスでグローバルizm

L2担任 齋 麻 子

毎年今号に寄稿させていただき、何回目となるのでしょうか。それほど1学年の担任を長く続けてまいりました。ですが、今年、人生初となる、「留学生がいるクラス」の担任となりました。しかも、これまで本校が受け入れてきた3年次編入の留学生ではなく、1学年から入学する留学生の受け入れクラスです。

L2クラスには、タイ（チュラポーン王女サイエンスハイスクール）からやってきた留学生が2名います。この留学生たちは、ほぼ日本語が話せない状況で、英語でのサポートを受けながら、日々日本人学生たちと共に、日本語で授業を受けています。母国から遠く離れた日本・八戸で、日本の生活に慣れること、日本語を習得すること、もちろん授業についていくことに日々奮闘しています。

留学生に限らず、入学したばかりの学生たちは不安の塊です。まして、親元を離れ、国を離れ、言葉もわからずに…という状況です。ですが、クラスの学生たちは、言葉の壁にぶつかりながらも、言葉の壁を日本人学生側から壊しながら、助け合って仲良く過ごしています。留学生が理解できるようにと英語が飛び交っていたり、日本語を早く理解できるように私設日本語教室を休み時間に開いてくれたり、授業のサポートをするべく、予習を頑張ったり、これまでの担任生活の中で、今までになかった驚くべき光景がクラスの中に広がっています。

入学まもなく自由参加型のクラス懇親会を白山台公民館で行いました。参加した学生たちは協力しあって、タイ料理やせんべい汁を作って交流を深めました。言葉は通じなくても、文化が違って



白山台公民館でのクラス懇親会の様子

も、手に手をとって何かを成し遂げる大切さ、せっかく同じクラスになった大きなチャンスを活かして掴み取ってくれることを期待しています。

充実した日々

環境都市・建築デザインコース1年

佐 藤 和 美

(八戸市立明治中学校出身)

入学当時、人見知りで小規模中学校出身ということもあり、友達ができるか、周囲の人と仲良くできるかとても不安でした。入学して一週間が過ぎてもあまり仲良くなれませんでした。しかし、勇気を出して周囲の人や女子にわからないことを聞いたり話しかけたりするうちに打ち解けることができ、授業のグループ活動などでさらに仲良くなりました。今では、困っている時に助け合っています。L2はそれぞれ個性があり、お互い認め合い助け合える最高のクラスで、毎日充実しています。

専門教科も充実しています。Zコース1年の専門教科は測量学と基礎製図です。どちらもとても難しく楽しいです。わからないことを質問し合うとZコースの人と仲が良くなり、一歩ずつ夢に近づいているような気がしてとても楽しいです。これからの高専生活も楽しんでいきたいです。

互いに手を取り合えるクラス

機械システムデザインコース1年

山 田 晟 也

(軽米町立軽米中学校出身)

4月に入学してから2カ月が過ぎました。最初は不安と緊張から、なかなかクラスの人と話すことができませんでしたが、1週間もたたないうちに新しい友人がたくさんでき、今ではとても楽しい毎日を送ることができています。高専は90分で1つの授業となっていて慣れるのに苦労しましたが、今では教えて下さる先生方が明るく接してくれるので、とても楽しい時間だなと思っています。また、1つ1つの授業の進み方が中学校よりも圧倒的に早いため、予習復習の大切さを改めて感じています。

私たちL2のクラスは、いろいろなタイプの人がありますが、やるべき時には互いに手を取り合い、協力しようという雰囲気があって頼もしいクラスだと思っています！このクラスで良かったと皆が思えるような最高のクラスをこれからも仲間と共に築き上げていきたいと思っています。

新 入 生 紹 介



今年も全力疾走

L3担任 和田 和 幸

2年連続2回目の1年生の担任を令和元年度(1年度)に務めることになりました。昨年度は全てが初めてで勝手がよく分かっていませんでしたが、今年度はスムーズにスタートが切れたと思います。私自身、昨年度よりも早く皆の顔と名前を覚えることが出来てますし、ずっと続いていたドキドキ感(?)は薄れて落ち着いて動けていると思います。昨年度と違う部分を感じているこの頃です。

L3の雰囲気ですが、当初はとても静かな印象を持ちました。特に数学の授業は黙々と受けていて逆にこちらが少し心配する所がありました。ですが、日が経つにつれてほぐれてきたのか、休み時間や放課後は賑わっている様子を感じ取れているので少しほっとしています。メリハリがあって良いのではと思います。当たり前の事ではありますが、年によってクラスの色が違って楽しいです。

混合学級は1年間だけですが、MECZの枠を越えて是非沢山交流をしてもらいたいと願っています。私自身働き始めてから、全く畑の違う人たちと、最近一緒に何かをやる機会に恵まれました。人生は全く読めない事だらけですね。

この原稿を書いているのは6月ですが、そろそろ皆さん自分の目標が定まってきたでしょうか。是非全力で取り組んで欲しいと思います。全力で取り組まないことには、得られるものは少ないと私は思います。ですが、自分ひとりだけでは中々上手くいかないこともあると思います。そのときには、是非周りの力を借りましょう。手助けをしてもらうことは決して悪くない事だと思います。その分、相手が困っていたら積極的に手を差し伸べてあげてください。

皆さんが卒業する頃にはどんな感情が体の中からこみあげてくるのでしょうか?是非最高の充実感を味わえるように、まずは1年生の時期をしっかりと生活していきましょう。私自身、そのためのお手伝いをさせていただきます。

1度1年生の担任を経験したとはいえ、まだまだ至らない所もあるかと思いますが、よろしくお願ひいたします。

個々の関わり方で

マテリアル・バイオ工学コース1年
石 屋 優
(八戸市立長者中学校)

新入生として教室に入った時、緊張のあまり黙り込み、受験の日と変わらない雰囲気の中で入学式を迎えました。私も気まずい中誰かと会話したい思いで溢れていました。しかし、一週間足らずでLINEの交換や授業を通して仲良くなっているクラスがL3です。今では入学式の面影は少しもありません。

高専での生活は中学校では考えつかない程ハイテクで、WordやPower Pointを使用した授業、ブラックボードで自己管理は多少の戸惑いはあるものの、かなり便利であり新鮮な気持ちで授業を受けています。しかし、不安も多く、テストで単位が取れなかったら留年するというプレッシャーに押しつぶされそうになったり、スマートフォンの扱い方を守れなかったり…。よく高専は「自由な学校である」と言うが、自由を得るなら何かしらの努力が必要であると私は考えます。成功を得るために、いろんな目線から鍛錬します。

夢への一步を踏み出して

マテリアル・バイオ工学コース1年
伏 守 響 子
(八戸市立根城中学校)

「平成31年度入学生」そう呼ばれ、不覚にも頬が緩んだ。三者三様の夢を抱きここに集った私たち。私たちの向かう先にはどんな未来が待っているのだろうか……いや私は未来を待っているのではなく、ここで出会えた仲間たちと共に未来を切り開いていきたい。高専では一般科目だけでなく専門科目も学習する所が普通高校との大きな違いではないだろうか。また「自主探究」では自分の好きなことについて本格的な研究が出来たり、希望すれば1年生から留学に行くことだってできる。「やろうと思えば何だってできる」そんな自由が高専にはあるのだ。

しかしその自由を手にするために、避けては通れないのが「勉強」だ。90分授業はとてもハードだし、テストだって生易しいものではない。それに……何より留年が怖い。焦りや不安に押しつぶされそうなとき、いつだって支えてくれるのはL3の仲間達だ。小・中学校のように誰もが昔からの顔なじみという訳ではない。しかし、不思議と居心地の良さを感じられて一緒に居て楽しい。同じ夢を抱く同志としての絆みたいなものを築いていけたらいいな、なんて思う。高専での5年間をより良いものにするカギは「積極性」だと思う。「自ら進んで」たくさんのことに挑戦し、沢山の人と関わって、自分の未来を切り開いていきたい。

新 入 生 紹 介



ピカピカの一年生!!

L4担任 中 村 泰 朗

L4担任となりました中村泰朗です。「担任業務は今年がはじめて!!」、「実は私も平成生まれ!!!」などと、フレッシュさのゴリ押しで学生たちとのコミュニケーションを図ってきましたが、そのネタも通用しなくなってきました。そろそろ新しいネタを仕入れます。

入学当初は緊張した面持ちで静かに過ごしていたL4の学生たちも、五月に入るところにはクラス・高専に馴染むことができました。最近は毎朝のホームルームでもにぎやかな一面を見せてくれています。また五月の球技大会では、L4は卓球で三位の好成績!たかが学内の球技大会と思うなかれ。高専の場合は中学校を卒業したばかりの一年生(15～16歳)から、成人式をとうに過ぎた専攻科生(21～22歳)までが在籍しています。一年生と上級生とでは、文字通り子どもと大人の体格差がありますので、その中で一年生が三位を獲得したのはとても立派なことだと言えるでしょう。担任である私は応援ぐらいしかしていませんが、学生たちの頑張りとクラスの団結力に対して、とても誇らしい気持ちになりました。

さて、学校説明会・入学式・始業式・ガイダンスなどで多くの教職員が説明したと思いますので、特に学生の皆さんは耳タコでしょうけれど、八戸高専は自主探究や海外留学など、皆さんの頑張りと次第でいくらかでも成長できる機会を多く設けています。私としましては、低学年で比較的に時間のある今だからこそ、色々なことにチャレンジしていただきたいと思っています。普段の学校生活では決して得られない体験ができますので、積極的に活動に取り組んでください。

高専を卒業するときに「この五年間がんばったな」「高専生活たのしかったな」と思えるためにも、最初の一年目でスタートダッシュを決めることが大切です(この場合のスタートダッシュは友達作りだけでなく勉強についてもですよ!)。まだまだ至らないところも多くある担任ですが、L4の皆さんを全力でサポートしていこうと思っていますので、今年一年よろしくお願いします。

ゼロから始める高専生活

電気情報工学コース1年

上 町 優 輝

(八戸市立島守中学校出身)

今年の春、私は高専に入学しました。高専での生活が始まって最初に思ったことは、とても「自由」だと思いました。規則を守り、1・2年生を引っ張っていたあの頃では想像も出来ないほどに「自由」でした。

それでは私の過ごしているクラスのL4について話したいと思います。

L4は、一言で表すと動物園です。毎日、笑い声と奇声の絶えない楽しいクラスです。入学したばかりの頃は、今では信じられないほど静かでした。ですが、日を追うごとに少しずつ打ち解け、今では全員が仲の良いといってもいいほど楽しいクラスになりました。

私は、高専に入ってよかったと思っています。勉強は難しいけれど、それを覆せるほど楽しいからです。これからもクラスの皆と一緒に高専生活をエンジョイしていこうと思っています。

L4、だぁーいすき

マテリアル・バイオ工学コース1年

後 澤 純

(六戸町立七百中学校出身)

4月3日の入学式から私たちの高専生活が始まりました。高専に入学して授業時間が長く勉強の仕方が中学校とは変わり大変になりました。

そして、言葉に表せないくらい優しい中村先生が担任のL4は、みんな優しく、個性的で面白いクラスです。クラスの中心的存在の上野君やクラスの Mascot のしゅんじ君など、どの人を見ても全員がとってもいい人ばかりのクラスです。

また、朝早く来て勉強する人もいる勉強熱心なクラスでもあります。

しかし、L4には改善点もあります。それは遅刻です。用事がないのに授業に遅れてしまう人がいたり、遅刻する人がいます。

まだまだ足りない部分もありますがこれからも一生懸命取り組んでいこうと思っています。

1 学年主任から

学びとりに日々努力！

4月3日（水）午前10時に入学式が厳かに挙行され、169名の新入生、タイからの留学生2名を迎えました。

保護者の方におかれましては、朝8時30分の受付に始まり、入学式、関係主事の挨拶、コース長との懇談、学級担任との懇談、学生さんと教科書購入と午前中の行事に加え、午後から入寮手続き。節目であり喜びであり、大変疲れた一日であったかと思います。学生さんは、その晩の学寮での新入生歓迎会、次の日は、8時35分のSHRに始まり、始業式、対面式、HR、午後からは入学者研修会として、教務・厚生補導・相談室全般についてのお話、図書館利用のガイダンス、健康診断と、学生さんも大変疲れたことと思います。担任も疲れましたが、新しいところで頑張る、頑張らせる保護者と学生さんの深い絆を感じました。学寮の手続きを済ませ、寮務主事のお話も聞き、学生さん

第1学年主任 蝦名 謙一

の笑顔を見て、「ホッ」としてお帰りになられた保護者の姿がとても印象に残りました。

5年間の高専時代には、いろいろなことがあるでしょう。克服しながら自分自身をよりよく磨き、就職した際には、全国のどこかで、立派な社会人で、これから出会う人を気遣い、元気に活躍してほしいものと願っております。

4学期制導入から5年目、春・夏・冬学期と集中して勉強するスタイル、秋学期には発表会のある自主探究学習と称して「学びとり教育」を目指した探究活動をこなして行かなければなりません。只今、テーマを募っているところであります。八戸高専に来てよかったと想えるように！

尚、今年度は、諸般の事情から、コース毎と担任とのクラス写真撮影が、4月23日（火）に行われましたことを申し添えます。

授業参観日を終えて

教務主事補 森 大 祐

5月18日（土）の授業参観につきましては、昨年度とほぼ同数の153名の保護者の皆様にご参加いただきました。ご多用中にもかかわらず足をお運びいただき厚くお礼申しあげます。授業参観アンケートでは、たくさんのご参観をいただきました新入生の保護者の皆様をはじめとして、ご子息の教室での学びの様子を見られて安心したとの感想をいただきました。一方で、授業運営、教室環境等のあり方について考えさせられる忌憚のないご意見もありました。アンケートでご指摘いただいた事項については、全教職員で情報を共有し、今後の授業改善に役立ててまいります。冬学期の12月9日（月）から13日（金）にかけても、保護者の皆様にご参加いただけるオープン授業週間を設定しております。今回はご参観できなかった保護者の皆様も、是非お越しいただき、学生の姿や授業の様子をご覧くださいとともに、本校の教育への忌憚のないご意見を賜れば幸いです。



専攻科新入生紹介

専攻科で、できること

機械システムデザインコース 1 年
小 泉 匠 摩

専攻科は自分が行いたいことを見つめなおす環境であると感じています。研究、留学、進学といった進路、またそのための準備等です。

現在、専門の定着を目標とする演習メインの授業を受けており、材料力学や流体力学などの学びなおしを行っています。専門を授業で学べるため、自由な時間ではそれ以外の勉強をするようにしました。例えば、留学のために英語に取り組んだり、大学院入試のために数学・物理の演習を行ったりと幅広く勉強できています。

また、研究にもより力を入れることができます。研究室には新たに5人の後輩が入りました。本研究室では先輩・後輩の関係を重要視しています。同じテーマの後輩と議論することも多くあり、より深い理解の得られる場です。学会発表の機会もあり、今研究方法を学べることは進学後も生かせると感じています。

専攻科での生活

マテリアル・バイオ工学コース 1 年
齋 藤 侑 己

専攻科に入学し早3か月が経ちました。現在はレポートや課題に追われる毎日を送っています。本科生の時とは異なり少人数の授業や一人暮らしでの生活など様々な環境の変化がありました。その中で、私は今まで以上に考えさせられたことがあります。それは時間の使い方です。本科の頃は課題やレポートを締め切りまでに終わらせればよいと安直に思っていました。しかし専攻科は本科以上に自由です。自分の時間の使い方はそのまま自分の将来に直結します。ただ締め切りに間に合うように課題をこなすだけではなく、今の能力や体調ではどれくらいの時間で終わらせることが出来るのか、短時間でも取り組める課題なのかということを正確に判断する必要があると、この3か月で感じました。

専攻科2年の時間はあっという間ですので、この時間を大切に、そして後悔の無いよう過ごしていきたいです。

専攻科ライフ

電気情報システム工学コース 1 年
東 山 聖 生

4月から専攻科生となり、学習の場は本科から変わらないながらも、クラスメイトが大きく減り、学習環境の変化を感じながら、日々勉強や研究に励んでいます。

授業に関しては、より専門的で高度な内容が多く取り上げられていて、授業を受けるだけでは理解が難しい場合も多く、予習や復習の重要性を痛感しています。また、実験の割合が本科以上に多く、空き時間を見つけてはコツコツとレポート作成に取り組んでいます。

後期のカリキュラムとしては、インターンや海外研修などの学外研修の機会が多く設けられており、様々な経験やインスピレーションを得るためにも、積極的に参加していきたいと考えています。

専攻科生活は2年間という短い期間ではありますが、日々目標を持って行動し、充実した毎日を送っていききたいと考えています。

6年目

環境都市・建築デザインコース 1 年
小笠原 舜 太

専攻科に入学し、本科を合わせ八戸高専での生活が6年目に突入しました。さらに来年度は7年目ということになります。小学校が6年間ですから、同じ学校で7年間学生生活を送る人は珍しいのではないのでしょうか。

私にとってはこれこそが進学先を専攻科に決めた大きな理由です。本科5年間で続けてきたことを同じ環境で続けていくことができるというのは、何事も突き詰めなくなる私の性格にとっても合致したものでした。学生の本分である勉強や研究はもちろん、それと同等に力を入れてきた写真活動がその例です。

八戸高専の学生でいる時間は残り2年弱ですが、卒業までにこの学校に7年間いたからこそ達成できるような集大成を残し、この7年間に誇りをもって卒業後の人生を生きていけるような専攻科での生活を送っていききたいです。

今年の編入生・留学生紹介

高専に編入してみて

機械システムデザインコース 4年
大坂 奈葉穂
(八戸工業高等学校出身)

高専に編入学してから2ヶ月が経ちました。入学してすぐはクラスに馴染めるのかとても不安でしたが、優しい人が多く安心しました。もっと自分からも話していけるように頑張りたいと思います。

高専に編入学してみても、授業のスピードや難易度、課題の量が高校の時とは全く違い、時間をうまく使わなければいけないと感じました。先日、初めての到達度試験を終え、自信をもって解答できる教科が少なかったのも、もっと努力しなければいけないと思いました。時間が過ぎていくのがとてもはやく、常に先のことを考えて行動しなければいけないと実感しています。夏の到達度試験では、納得のいく結果を得られるように努力していきます。

M4、先生をはじめとする皆さん、これからよろしくお祈いします。

充実した学校生活

機械システムデザインコース 4年
永澤 瑠
(弘前工業高等学校出身)

時間が経つのは早いもので、入学してから約2ヶ月が経ちました。それだけ毎日の学校生活が充実していて、楽しいからだ実感しています。

始業式の日には不安でいっぱいでしたが、何人かの人が話かけてくれて、すぐにクラスに馴染むことができました。

高専は、工業高校と比べると、課題も多く、授業のレベルも高く、毎日、とても忙しくて大変です。しかし、周りの友達に分からない所を質問すると自分が納得するまで説明してくれます。そんな優しく、面白い友達に、毎日支えられて乗り越えることができます。クラスのみんなにはとても感謝しています。ありがとう！これからは、進路選択もあり、より忙しくなるとは思いますが、自分の将来をしっかりと見据えて日々努力していきます。

これからよろしくお祈いします。

これからに向けて

電気情報工学コース 4年
栗津 翔太
(弘前工業高等学校)

高専に入学してからは、高校のときに比べて、時間が経つのが速くなったように感じます。高専に入学して、色々わからないことが多く、やりたいことも、やるべきこともなかったため最初の一週間はとても退屈でした。しかし、色々なイベントや授業などを経て、少しずつですがクラスに馴染んできて、高専での生活が充実し、楽しくなってきました。

授業面では高専のペースについていけないのでまだよくわからず心配です。しかし、何度考えてもわからないことを調べたり、教えてもらったりして理解できたときは、自分が高専生のレベルについているという感覚があります。テスト勉強にもこの感覚を忘れず取り組んで、この2年間を自分の将来に向けて悔いのないよう過ごしていきたいです。

高専に編入して

電気情報工学コース 4年
吉田 奨
(五所川原工業高等学校出身)

八戸高専に編入学して早いもので2ヶ月が経ちました。入学当初は、すごく緊張していてクラスに馴染めるのかとても心配でした。その心配が一気に吹っ飛ぶくらいE4の皆は、暖かく、笑いにあふれたクラスで、このクラスに入れて本当に良かったと思います。

学習面では、授業スピードが高校とは比べ物にならないくらい早くなりレベルが上がっていて、ついていくのがやっとの教科もあります。こんな時、頼りになるのがE4の皆です。困っているときにすぐに解決してくれます。さらにこれからは授業が一層難しくなっていくと思うので、努力を惜しまず、これから高専生活を充実したものになるよう、日々精進していきます。

私も高専に来たからには、さらに進学するために、これから2年間を大切に、努力を重ねていきたいと思っています。

高専に編入学して

環境都市・建築デザインコース 4 年
増 田 佳乃子
(八戸工業高等学校出身)

入学式から 2 カ月が経ち、高専の生活にも少しずつ慣れ始めてきました。始業式の日、教室に入ることが少し怖かったですが、入ってみると皆明るく声をかけてくれました。Z 4 の人達は皆本当に優しく、居心地の良いクラスです。このクラスの一員になれてとても嬉しく思っています。

学習面では高校との差に驚きました。授業はとても難しく、進むスピードも速いため、ついていくことに必死な状態です。授業の中で理解できなかった部分は周りの人に質問して教えてもらっています。皆の理解の速さと今までの学習量の差は大きく、周りより何倍も努力しなければならないと強く感じました。今回の到達度試験では計画的な勉強ができなかったため、この反省を活かし、夏学期の到達度試験では良い結果が出せるよう皆の力も借りて頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



皆さん、ありがとうございます！

電気情報工学コース 1 年
イヤムサアード・トンナーム (トンナーム)
(タイ)

私が八戸高専に来てから、3 か月ぐらいです。はじめ、私はとても緊張していました。しかし、生活が始まってみると、学校生活はほとんど母校の PCSHS (プリンセスチュラポンサイエンスハイスクール) と同じだったので、私はすぐに八戸高専の生活に慣れることができました。

初めて登校した日、私はずっと友達の作り方を考えていました。でも、ここは日本ですから、クラスメートは英語を話さないし、私も日本語が話せません。何人かが私を心配して話しかけてくれましたが、うまく話すことができませんでした。

しかし、今は違います。私たちはお互い日本語と英語で一生懸命コミュニケーションを取っています。そして、皆のおかげで毎日が楽しくなりました。とても感謝しています。

私はこの留学が成功するよう頑張って勉強することを約束します。(日本語訳: 杉山暦特命准教授)

私の高専での生活

機械システムデザインコース 1 年
タンヤソーパーク・ドゥアンポン (カートゥーン)
(タイ)

この留学は私にとって初めての留学です。日本語で勉強しなければならないことは、もちろんとても大変ですが、留学は私の力を試すチャレンジですから有意義だと感じています。そして、毎日とても楽しいです。

今、私にはたくさんの親切な友達や先輩がいて、私に何か困っていると、皆いつも助けてくれます。また、担任の先生や科目担当の先生、サポートの先生たちも熱心にサポートしてくれています。

これまで、私は友達から多くの日本文化や習慣を教えてもらいました。はじめは慣れないことばかりで難しいこともありましたが、友達が丁寧に説明してくれたので、今はよく分かるようになりました。

私は周りにいてくれる人たちにとても感謝しています。これからもどうぞよろしくお願いします。
(日本語訳: 杉山暦特命准教授)



八戸の生活

マテリアル・バイオ工学コース 2 年
ニンラット・ナンナパット (テンメー)
(タイ)

去年の 4 月に日本へ来て、東京で一年間日本語を勉強していました。それから今年の春に八戸に来て、3 か月位たちました。まだ日本語が上手ではありませんが、先生方や友達が優しくしてくれるので、今は八戸の生活にだんだん慣れてきました。分からないことがあると、親切な先輩と友達が教えてくれます。クラスメートだけではなく、知らない学生が助けてくれることもありました。

最近、春学期の試験が終わりました。理系科目の内容も日本語も難しく、とても大変でした。しかし、頑張るしかありません。これからも日本語も理系科目もより熱心に勉強しようと思っています。今の生活は時々つらいこともありますが、自分から楽しくする努力が必要だと思います。

皆さん、優しくしてくれてありがとうございます。皆さんともっと仲良くなりたいです。これからもどうぞよろしくお願いします。

今年の編入生・留学生紹介

八戸高専の生活

環境都市・建築デザインコース 2年
カンヤマーサー・スパンサー（ビーム）
（タイ）

八戸高専へ来る前、私はとても緊張していました。また、勉強や友達作り、慣れない環境での生活について、少し不安にもなりました。しかし、ここに来たら、皆さんが私に優しくしてくれて、とても安心しました。何か分からないときは、クラスメートが親切に教えてくれたり、私とおしゃべりしてくれたりして、うれしかったです。

私はバドミントン部に入部して、部活の仲間と仲良くなりました。また、部活を通じて、先輩や後輩、同級生ともたくさんコミュニケーションをとるようになりました。

勉強については、日本語で勉強するのは想像通りとても大変でした。しかし、先生が英語訳やふりがなをつけてくれ、分かりやすくなりました。

これからももっと勉強は大変になると思いますが、頑張ります。そして、八戸高専の生活を楽しまたいと思います。

留学生活

電気情報工学コース 3年
バトバヤル・ソロンゴ（ソコ）
（モンゴル）

高専に入学してもう2ヶ月が経ちました。八戸に来た初めの日はとても寒くて、悲しかったです。諦めたくて、泣いてしまったこともありましたが、今は優しい先生たち、先輩、親切なクラスメイトのおかげで日常生活はだんだん楽しくなってきました。学校みんなが笑顔で挨拶して気持ちがよくなりました。特にE3の皆は優しい人ばかりでいつも助けてくれて本当に感謝しています。

一番大変なのは実験レポートなのですが、クラスの友達や先生方の助けでできています。

これからも分からなくて困ることがたくさんでくると思います。でも途中で諦めずに最後まで一生懸命頑張りますので、先生方や学校の皆さん宜しくお願いします。

高専に入学して

マテリアル・バイオ工学コース 3年
ガンバトル・ムルン（ムルン）
（モンゴル）

高専に入学して三ヶ月たちました。八戸に着いた時、意外と寒くてモンゴルのような感じがしました。八戸に来る前に東京で一年間くらい日本語を勉強しましたが、高専に入って日本人と一緒に勉強する時に授業についていけるかどうか、自分の日本語が先生たちやクラスみんなに通じるかどうか、とても心配でした。私にとって寮生活は新しいもので、寮に入ったばかりの時は分からないことがたくさんあったり、問題が出てきましたが、隣の留学生の先輩や日本人の学生に色々教えてもらってだんだんと慣れてきました。これからも授業や生活で分からないことが出てくと思いますが、問題をチャレンジとして頑張るので先生方や学校の皆さん、よろしくお願いいたします。



新任教職員紹介

- ① 氏名
- ② 出身地
- ③ 所属・職名
- ④ 前職

- ① 菅 谷 純 一
- ② 茨城県水戸市
- ③ 電気情報工学コース・嘱託教授
- ④ 仙台高等専門学校・総合工学科

今年度の4月から、産業システム工学科・電気情報工学コースの再雇用異動となりました。前任は仙台電波高専－仙台高専と37年間教員でしたので、高専という環境には慣れているつもりですが、こちらは4学期制を取るなど戸惑いもあるものの、周囲の方々の親切で助けられています。

専門は「制御工学」で、主に電気自動車や液面制御等の機器からコンピュータに取り込んだ情報を使ってフィードバック制御して人間の使いやすいシステムを作るための理論と実践を研究テーマとして扱っています。また、研究の延長線上で公開講座等、将来の技術者の卵である小中学生生徒への啓発的取り組みも行っています。以上、技術的・教育的ノウハウは心得ているつもりですが、八戸高専においてもさらに研鑽を積み、そのような視点と活動を通して学生への刺激を与えられれば良いと考えております。一生懸命頑張ります。

- ① 水 野 俊太郎
- ② 東京都杉並区
- ③ 総合科学教育科・准教授
- ④ 京都大学 基礎物理学研究所

今年度4月に総合科学教育科に着任いたしました。専門は宇宙論で、宇宙やそこに含まれている物質がどのように生まれ、どのように進化してきたのかを明らかにする研究をしています。これまで直近の京都大学を始め、早稲田大学、東京大学等に在籍し、物理の研究・教育に励んで参りました。物理の特長の一つに、その手法が自然科学のほとんどの分野に応用可能な点があります。しかし、私自身にとってはそれ以上に、物理は初期の段階で少し我慢して勉強に取り組み、ある程度まで突き抜けてしまえば、自然にその面白さに気づくことが出来るという点が、物理を続ける原動力になってきている気がします。私は今までの経験で培った方法で本校の学生の物理の勉強を精一杯サポートさせていただき所存です。そして、1人でも多くの方と物理の面白さを共有出来ることを楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

- ① 綿 矢 憲 之
- ② 福井県大野市
- ③ 事務部長
- ④ 北陸先端科学技術大学院大学会計課長

4月1日付で着任しました事務部長の綿矢憲之です。前任地は石川県にあります北陸先端科学技術大学院大学で、学部を持たない大学院だけで構成されている大学です。本校卒業生も過去に何人か入学しており、また、研究分野で協定を締結しているとのことで、遠く離れた土地、高専と大学院ということで縁もゆかりもなさそうと思っておりましたが、どうやらそうではなさそうなのでひとまず安心しております。

自身、八戸（青森）勤務はもちろんのこと足を踏み入れたのも初めてではありますが、北東北へは10年前の秋田大学勤務から数えて2回目であり、食べ物のおいしい東北の地での生活に正直わくわくしております。

窓から、廊下から聞こえてくる学生さんの声に大学とは違った若々しさがあり、高専に来たんだなあ実感しております。

どうぞよろしくお願いいたします。

- ① 下 山 智 裕
- ② 青森県南津軽郡大鰐町
- ③ 総務課地域連携係長
- ④ 弘前大学農学生命科学部総務グループ主任

4月1日付けで総務課地域連携係長として着任しました下山智裕と申します。高校も大学も弘前市内、就職も弘前市内ということで、大鰐町民ながら生活圏は弘前市でした。それが今年4月から奥羽山脈を跳び越し、太平洋の見える八戸に住むことになりました。

有名な諺の一つに、「住めば都」というのがあります。確かに、不慣れな地および環境での勤務は抵抗がありました。しかし、生活していくうちに刷り込まれていくもので、八戸及び八戸高専はいいところだと感じています。

高専での勤務は今回初めてでありまして、色々仕組みが異なる点を感じながら、日々試行錯誤の状態です。そのような状況下でも微力ではありますが、八戸高専のみなさまのお役に立てるように精一杯頑張ってお参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

- ① 齋 藤 麻 未
- ② 青森県平川市
- ③ 学生課入試・教務係
- ④ 盛岡市立見前南小学校主事

4月1日付で採用になりました、齋藤麻未と申します。地元大学の卒業後、岩手県盛岡市内の小学校で3年間事務職員として働いておりました。青森に戻ってきたというよりも、新たな土地にやってきたような新鮮な気持ちです。

さて、学生課入試・教務係という聞きなれない係に配属され、これまで経験した事のない業務に追われるうちに、あっという間に3ヶ月が経ちました。初めのうちは正直何がわからないのかもわからないような状況でしたが、ベテランの先輩方に知りたいことをすぐに訊ける環境で本当に助かりました。今後は、教わったことをしっかりと身につけ、仕事面でも自立していけたらと思っております。

未熟者でご迷惑をお掛けすると思いますが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。6月現在

北 辰 寮 か ら

北辰寮総代から

機械システムデザインコース5年 市川 雄也
(東北町立上北中学校出身)

新学期が始まり早くも3ヶ月が経ちました。1年生も寮生活に慣れ、有意義な学校生活を送っていることと思います。

6月の初めに行われた春学期到達度試験も無事に終わりました。試験期間の間は大食堂や自習室で真面目に勉強に取り組む姿が見られました。

そして、先日には寮祭がありました。今年からの新たな試みも行われましたが、今まで通り沢山の人が企画へ参加し、一様に輝いている姿が見られとても良いものになったと思います。

また、7月からは高専大会も始まるため、寮生はまだ行事が続きます。まだ梅雨も残り、これから暑さも増していきます。くれぐれも体調は崩さないようにし、行事はみんなで楽しみ、より良い寮生活にしていきましょう。

北辰寮530(ゴミゼロ)運動報告

寮務主事補 細川 靖

4月21日(日)に田面木町内の530(ゴミゼロ)運動が行われました。北辰寮でも、衛生委員、厚生委員、リサイクル委員を中心としたメンバーでゴミゼロ運動に参加しました。朝早くまだ肌寒い時間でしたが、予想を上回る40人以上の寮生が集まってくれました。我々が活動を始めた頃には、中田面木町内会の皆様はすでに活動を始めていて、高専前の道路のゴミ拾いや路肩の土さらいなどが行われていました。寮生も早速側溝の土さらいから始め、高専から高専グラウンドの下までのゴミ拾いと、ウルスラ高校との間の落ち葉や積もった土などを片付けました。寮生みんなの頑張りと、人数が多かったこともあって、大変きれいになりました。中田面木町内会長さんやウルスラの方からも感謝の言葉をいただきました。北辰寮生も地域の一員であることを意識して、次の活動へと繋げて欲しいです。



第55回北辰寮祭

マテリアル・バイオ工学コース4年 関 翔星
(青森市立三内中学校出身)

6月21日と22日に我々が北辰寮生の記念すべき第55回北辰寮祭が行われた。今回の寮祭のテーマは「新しいことへの挑戦」で、今までの寮祭を見直し、全寮生が楽しめるような寮祭を作り上げる為に、半年以上前から寮祭実行委員会を組織し活動していた。寮祭のしおりや今までなかったイベントの準備などとても大変だったが、各局局長が率先して仕事をしてくれたことにより、なんとか寮祭に間に合い無事に行うことができた。

21日の最初のイベント、カラオケ大会により寮祭が始まった。このカラオケ大会も今回初めてで、どの程度盛り上がるのか想像できなかったが、参加者も多く盛り上がりも良かった。是非来年も行っていきたい。22日は天候に恵まれず雨が降っていたが、体育館でのスポーツ大会、赤レンガでの露店、音楽部によるライブ、企画局によるイベントが行われ、たくさんの寮生が参加した。露店は焼きそばや、唐揚げ、焼き鳥などなど、雨にも関わらずたくさんの人に買っていただき黒字になったようだ。スポーツ大会も今回が初めてで、参加者が少なく不安であったが、体育館の熱気がすごく、とても盛り上がっていた。企画局のイベントは、スポーツ大会やライブに人が寄ってしまったため、少ない人数ではあったが楽しく行うことができた。夜祭は出場者全員のレベルが高く、沢山の笑いが起こった。最後のラジオ局による北辰ラジオは今までと配信方法を変更した。若干のアクシデントはあったものの、沢山の寮生が豪華景品を目当てに夜遅くまで参加した。

今回の寮祭では多くの新しいことへ挑戦し、成功させることができた。それは寮祭に関わった全ての方の協力があったことだ。全ての関係者に感謝したい。





相談室から

相談室長 矢口 淳一

相談室では、心身の変調や悩みのある学生に対して、カウンセラーによる支援を行ってきています。精神科医も下記のように定期的に来校していますので、保護者の皆様も**お気軽にご相談ください**。

青年期に発症する精神疾患が疑われる場合やうつ状況など、何かしらの異変を感じたり、異変に関する情報を得たら、担任や相談室関係者等にご相談ください。**早期の対応が大切です**。

小中学校で発達障害等の診断を受けている場合や、発達障害等が疑われる場合で支援が必要と思われる際にもお知らせください。障害を理由とする差別の解消に関する相談窓口を設けておりますので、ご相談の上支援チームを組むなど、適切に対応していきます。

また昨年度から社会福祉士の資格をもつスクールソーシャルワーカー（SSW）が週3回来校しています。家庭や学外でトラブルが生じた場合などに是非ご相談ください。

いずれの場合も**秘密は守られます**。

相談室の担当は次の通りです。

◎カウンセラーと主な担当曜日

笹 博（医師・ささクリニック院長）

第2・4水曜日 担当

中西 智子（臨床心理士）

第3・5水曜日 担当

坂本 玲子

（産業カウンセラー・スクールカウンセラー）

第1・3木曜日 担当

石川 善子（臨床心理士）

第2・4木曜日 担当

土屋 文彦（臨床心理士）

第1金曜日・第2火曜日 担当

◎スクールソーシャルワーカー

正部家 千穂子

毎週月・火・金曜日（15：00～18：00）

詳しくは、下記の窓口にお問い合わせください。

校内に「カウンセラー来校日のお知らせ」ポスター、各教室内に「相談室からのお知らせ」も掲示しています。

◎インターカー（窓口）TEL 0178-27-7236

石川 久美子（看護師、保健室）

吉田 左千枝（看護師、保健室）

◎相談員

各コースの教員を配置し、保健室の談話スペースに日替わりで詰めています。夏学期の懇話室担当日は次の通りです（授業日の16：00～17：00）。

月曜日：佐々木 有 電話 0178-27-7296

（マテリアル・バイオ工学コース）

火曜日：矢口 淳一 電話 0178-27-7305

（室長、環境都市・建築デザインコース）

水曜日：黒沢 忠輝 電話 0178-27-7272

（機械システムデザインコース）

木曜日：中ノ 勇人 電話 0178-27-7288

（副室長、電気情報工学コース）

金曜日：戸田山みどり 電話0178-27-7260

（総合科学教育科）

◎教職員向け相談員

ゼミ棟1階の第2ゼミ室で下記に示した時間に詰めています。主に教職員のためですが、**学生でも相談できます**。

（夏学期担当曜日）

月曜日15：00～17：00

中村 重人 相談員（名誉教授）

火曜日13：15～15：15

石川 正子 相談員

金曜日15：00～17：00

鳴海 哲雄 相談員（名誉教授）

☆学生本人と保護者の方々が利用できる高専機構の「KOSEN健康相談室」フリーダイヤル0120-50-24-12もあります。

（受付時間：24時間365日）

□これまでの取り組みとこれからの予定

1. 構成的グループエンカウンターの実施（1年生）＜5月始め＞

人間関係づくりや思いやりのある学級づくりに効果が期待される取り組み

2. 「学校適応感尺度調査」の実施（全学生）＜6月下旬＞

学生のメンタルの不調をいち早く把握し、支援の必要な学生を見出し、必要に応じ精神科医やカウンセラーなどによる専門的な面談を実施するなどの取り組み

※1年生対象の「話してみよう！1分間」は7月に実施の予定。

学生が相談しやすくなり、しかも相談できる相手の選択肢を広げる取り組み

令和元年 国際交流活動

国際交流センター長 阿 部 恵

世界でグローバル化が加速する中、国際機関における連携の強化が喫緊の課題となっています。全国51高専の中でも本校は国際社会で活躍するグローバルエンジニア育成に向けて、さまざまな国際交流活動に取り組んでいます。新たにタイのチュラポーン王女サイエンスハイスクールチョンブリ校と台湾の文藻外語大学と協定を締結して、学生の受け入れをスタートしました。今年度の国際交流事業の紹介をします。

【タイ「チュラポーン王女サイエンスハイスクール」事業】

本校は、平成31年4月からタイのトップクラスの学生対象に理工系教育を行う中高一貫の「チュラポーン王女サイエンスハイスクール」(12校)から、留学生の受け入れをスタートしました。

今年度は、本科1年生にトンナムさん(電気情報工学コース)とカートゥーンさん(機械システムデザインコース)、本科2年生にビームさん(環境都市・建築デザインコース)とテンメーさん(マテリアル・バイオ工学コース)の合計4名が入学しました。皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。



- 今年4月から6月までの約3ヶ月間、フランス(リールA技術短期大学他)から3名の学生が、本校の教員による指導のもとで研究を行い、6月26日に成果発表を実施しました。フランスの教員5名が来校して、評価を行いました。
- 台湾の文藻外語大学の学生2名が英語科目の教育実習生として、7月1日から8月8日まで英語の授業に参加します。謝雨庭(Kelly)さんと李岱(Matilda)さんです。英語教員を目指して勉強している学生たちです。どうぞよろしくお願ひいたします。

派遣国	日程(令和元年)	人数
シンガポール	9月	12
モンゴル	8月～9月	2
タイ	8月～9月、10月、12月	7
ニュージーランド	9月、9月～2月	5
フランス	9月～11月	9
オーストラリア	9月～12月	1
イギリス	9月～2月	1
ベトナム	9月～2月(予定)	1
カナダ	8月～9月	1

今年度も海外インターンシップ及び海外派遣を予定しており、下記の国に学生を派遣予定です。海外研修に参加するにあたり、今年度は下記の奨学金があります。

★令和元年八戸高専国際自主探究校長特別奨学金

国際自主探究に参加を希望する学生対象とした校長特別奨学金です。旅費などを支給する奨学金(全額補助)で、書類審査、作文、面接等などにより選考されます。

★令和元年「トビタテJAPAN」

第12期の募集が始まりました。この奨学金は、海外留学を希望する学生に留学経費を補助する返済義務のない奨学金です。

募集開始: 2019年7月1日(月)

申請データ提出締切: 2019年9月30日(月) 17時

※校内締め切りは2019年9月20日(金)となります。

希望者は、総務係まで問い合わせてください。

今年度は、大学生部門4名、高校生部門4名、合計8名の学生が採択されています。ぜひ応募してください。

最後に、学生の皆さんには在学中に、国際交流活動に積極的に参加して、グローバルコンピテンシーを身につけ、英語をツールとして使いこなしてコミュニケーションができるよう頑張ってもらいたいと期待しています。皆さんが世界を舞台に活躍できるグローバルエンジニアになるよう、私たちもサポートします。

COC/COC+ 事業

COC事業推進責任者
丸 岡 晃

八戸高専では、平成30年度までCOC事業によって、地域社会との連携、課題解決が実施されてきましたが、本年度は青森県で取り組んでいるCOC+事業「オール青森で取り組む『地域創生人材』育成・定着事業」への参画のみであり、本年度はCOC+事業の最終年度となっています。

本年度八戸高専が主体となって実施している事業を以下に紹介します。「イノベーション・ベンチャー・アイデアコンテスト」および「ライフ成果報告会」については、一般聴講もできますので、興味のある方は奮ってご参加ください。県内の大学生・高専生の地域での関わりや活躍の様子を知る良い機会になると思います。

※COC+事業の詳細は、下記URLをご参照下さい。

<http://coc.hirosaki-u.ac.jp/>

- あおもり県企業内容説明会
日時：10月5日（土）10：30～16：30
場所：八戸パークホテル
参加対象企業：青森県内に事業所をおく企業
参加対象：大学、短大、高専、専門学校生等の学生および教職員
- イノベーション・ベンチャー・アイデアコンテスト
日時：2020年1月11日（土）
場所：グランドサンピア八戸
- ライフ成果報告会
日時：2020年2月22日（土）13：30～16：30
場所：八戸ポータルミュージアムはっち

図書館の 今年度の予定

図書館長 工 藤 憲 昌

今年度の図書館の活動については次の事を計画しています。

<読書習慣を身につけるための各種行事の充実>

- ・ブックハンティング
- ・ビブリオバトル
- ・ニューズレターの発行
- ・学生会図書委員会の活動支援

<学外行事への参加>

- ・青森県高等教育機関図書館協議会（7月初旬開催予定）

<令和元年度図書館委員会行動計画>

- ・交流室の積極的な活用の推進
- ・読書習慣を身につけさせるための各種行事の充実
- ・蔵書点検の実施
- ・資格試験コーナーの充実

<その他>

八戸ブックセンターとの連携「ひと棚選書」

本のまち八戸推進の拠点施設「八戸ブックセンター（H28秋に開設）」内に「ひと棚」を設置し、来館者の「本との出会い」創出の試みとして、市内の高等教育機関の教員が推薦する書籍が、3カ月間交代で常設ブースに陳列されます。

本年度では4人の教員の皆様から図書を紹介して頂く予定です。

寄贈図書の受け入れについて

本高専教職員2名から図書の寄贈の申し込みがあり、受け入れさせていただきました。ありがとうございました。

男女共同参画委員会から

男女共同参画の目標達成に向けて

男女共同参画委員長
戸田山 みどり

八戸高専の男女共同参画には公表されている数値目標があります。2022年度末までに女性教員を全体の約14%まで引き上げる、というものです。この目標は平成28年度から6年間実施されるダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（代表機関：岩手大学）という国の事業に採択される際に、数値目標として提出したものでした。ダイバーシティと言えば一般的には国籍・年齢・障害の有無・性差において多様な、という意味ですが、この事業に関しては、実質的には、女性研究者支援と呼ぶべきものです。事業への補助金は昨年度まででした（本校の場合、約140万円ほどでした）が、これから3年間は本校の自主財源で、女性研究者の活躍の促進・女子学生の活動の支援をしていくことになります。

この事業が始まったころ、八戸高専の女性教員は5名でした。現在、専任教員のみの数字で見ると1名増の6名です。1名でも増加しているのは進歩と言えますが、教員に占める比率では9.5%で、これは2018年度の高専機構全体の女性教員の比率10.7%よりも低い状況です。

実は、学生に関して言えば、八戸高専の女子学生比率は高専機構全体を大きく上回っています。昨年度の全国「国立」高専51キャンパスの女子学生の比率は本科の場合20.4%、専攻科の場合11.8%でしたが、八戸高専の場合は、それぞれ28.3%、21.8%と、全国平均を大きく上回っていました。本科に関しては、今年度はさらに上昇して、30.3%となっています（高専機構の数値は『独立行政法人 国立高等専門学校機構 概要（2018年度）』、八戸高専の数値は『八戸工業高等専門学校 学校要覧（2018および2019年度）』）。

女子学生は、自主探究や海外研修で、実数以上に活発な活動をしています。昨年度から本格的に活動している「ろぼっと娘」たちのように、出前授業などの地域貢献にも積極的です。たいへん残念なことに、彼女たちの活動を支える女性教員の数十分とは言えないのが実情です（したがって、少数の女性教員にしわ寄せがきます）。優秀な女子学生たちには進学して将来の高専教育を担ってほしいと願うと同時に、その前にまず、現職の女性教員が増えてほしいと切に願っています。

キャリア教育・支援センターから

卒業後に向けて、ご協力のお願い

キャリア教育・支援センター長
戸田山 みどり

平成30年度に設置されたキャリア教育・支援センター（以下、キャリアセンター）はこの7月から事務部の体制も整い、新たな段階に進みました。就職・進学・入試業務・学習支援は、これまで学生課入試・教務係と学生係に渡っていましたが、今後は入試・キャリア支援係に一括されます。

キャリアセンターとしての業務は変わったわけではありません。今年度も、OB/OG講演会や各大学・企業による説明会等を実施する予定です。状況により変更点もあります。今年から4年生のインターンシップの事前指導は、「マナー講座」だけでなく「メール講座」もあわせて「インターンシップ講習会」としました。また、昨年度まで実施してきた岩手大学や弘前大学のオープンキャンパスへの引率が日程の関係で難しくなり、秋学期に別枠の見学会を実施する方向で調整中です。

保護者のみなさまへの情報提供としては、入学式でのご説明が定例化しました。また、6月の全校保護者懇談会では、学歴による初任給の違いや奨学金情報を含めた、進学にかかる経費に関する資料を配布いたしました。さらに説明会では、ご家庭でのご協力をお願いしております。とくに強調させていただいておりますのは、ご家庭での対話の重要性と新聞講読です。就職するにしても進学するにしても対話によるコミュニケーション能力は非常に重要ですが、学校だけでは養成できません。また、さまざまなニュースが「目に飛び込んでくる」メディアである新聞は、読解力を養うだけでなく広い視野を持てるようにするという点でも就職や進学の準備に有益な「教科書」です。どちらもご家庭の協力があってはじめて、学生が手にすることができるものです。

進学希望の場合には受験そのものにも費用がかかりますが、最近では就職の場合でもTOEICのような英語の試験やその他の資格試験の成果が重視されるようです。でも、その前にまず、ふだんの学習に課題があるようでは、卒業が危ぶまれてしまいます。成績が心配なお子様の場合は、ぜひ本校の学習メンター制度をご活用いただければ幸いです。卒業後の充実した進路にむけて、皆様の経済的なバックアップをお願いしたいと思います。

就職・進学状況について

就職担当幹事

産業システム工学科長

藤原 広和

1. 現在の進路状況

今年度の本科5年生および専攻科2年生の5月21日現在の進路状況を表1および表2に示します。求人社数の傾向は、昨年度よりさらに増加しています。求人倍率はどのコースも非常に高く、高専生に対する企業からの期待の大きさがうかがえます。現在、本科全体の就職希望者の割合は62%、進学希望者は38%です。好調な経済状況を背景に大手企業からの求人活動も活発ではありますが、今年度、進学希望者が昨年度より減少しています。また、専攻科全体の就職・進学希望者の割合は、就職が69%、進学が31%と大学院進学希望者が本科同様昨年度より減少しています。

2. 今年度の就職活動

日本経済団体連合会（経団連）の2020年度入社対象の「採用選考に関する指針」によりますと、20年度入社予定者の採用選考活動も4年連続で17年度入社予定者の対応を維持し、指針や手引きの変更は行わないとのことです。企業の広報活動は3月1日以降、選考活動は6月1日以降、正式な内定日は10月1日以降となっております。しかしながら、実質的な動きは、多くは4月中に面談等が行われ、5月の連休前後には合否の連絡を頂いております。また、今年度は昨年度に比べてさらに面談等の実施時期を早める傾向にあり、就職希望の学生は早めに応募先企業を決定しておく必要があります。現在、就職希望者のうち進路未定の学生もおりますが、そのほとんどは現在就職活動中です。

3. 進路を決めるにあたって

本校では、昨年度よりキャリア教育・支援センターが新たに設置され、キャリア教育プログラムが一層充実してまいります。学生自身が自らの将来像を描きそのためにどのような道筋が考えられるか、様々なキャリア教育プログラムを通じて検討することが可能になっております。

具体的な進路の決定は4学年の11月に実施される保護者懇談会において就職、進学の選択を学生、保護者、担任（あるいはコース長）の三者面談で決定いたします。3月上旬には応募先企業を決定する流れになります。就職希望者は、数百にも上

る求人企業の中から自分の希望する企業を決定しなければなりません。応募は学校推薦と一般応募の2つの方法があります。学校推薦では、合格率が比較的高く、ほとんどの企業が受験に必要な旅費、宿泊費を負担してくれます。しかし、併願はできませんし、合格した場合、辞退することもできません。したがって、十分に企業研究を行い、出来る限り見学等をしたうえで応募することを勧めます。なお、企業によっては一般応募のみの採用活動を行っている場合もあります。この場合は複数同時に応募することも可能です。いずれにせよ企業研究が非常に重要になります。本校の就職情報検索システムや各種企業内容説明会の機会を利用して、できるだけ多くの情報を得たうえで応募するように心がけてください。

進学を希望する学生は、大学で開催されるオープンキャンパスに参加するなどして大学を訪れてみるとよいでしょう。大学の雰囲気を感じることが出来ます。また、各コースの進学相談担当者に入試情報等問い合わせをすることも可能です。

最後に就職・進学ともに面接や応募書類で「高専で一番頑張ったことは」という質問がよくあります。学修の他、部活動や学生会、寮生会、ボランティア、海外経験等を積極的に利用し、それらの経験を披露できるような学生生活を送っていたきたいと思います。

表1 本科進路状況（5月21日現在）

学 科	M	E	C	Z
卒業予定者数	38 (5)	36 (9)	40 (19)	36 (18)
希望者数	28 (4)	24 (8)	20 (14)	21 (16)
求人社数	649	655	412	437
(昨年同時期)	(597)	(618)	(371)	(401)
求人倍率	23.2	27.3	20.6	20.8
進学希望者数	10 (1)	12 (1)	20 (5)	15 (2)

() は女子内数

表2 専攻科進路状況（5月21日現在）

コ ー ス	AM	AE	AC	AZ
卒業予定者数	5 (0)	10 (1)	7 (4)	7 (1)
希望者数	5 (0)	8 (1)	3 (2)	4 (1)
求人社数	570	575	353	382
(昨年同時期)	(494)	(505)	(315)	(347)
求人倍率	114.0	71.9	117.7	95.5
進学希望者数	0 (0)	2 (0)	4 (2)	3 (0)

() は女子内数

学 生 表 彰

○平成30年度 学年学業成績優秀賞

氏 名	進 級 後 ク ラ ス
【1年次成績部門】	
田 中 天 統	機械システムデザインコース2年
山 一 真 也	電気情報工学コース2年
根 城 響 子	マテリアル・バイオ工学コース2年
飯 田 璃 咲	環境都市・建築デザインコース2年
【2年次成績部門】	
麦 沢 祐 人	機械システムデザインコース3年
武 田 浩 季	電気情報工学コース3年
ガルブレス ハンナ	マテリアル・バイオ工学コース3年
熊 谷 風 音	環境都市・建築デザインコース3年
【3年次成績部門】	
柳 沢 啓 斗	機械システムデザインコース4年
大 澤 士 竜	電気情報工学コース4年
三 浦 菜々美	マテリアル・バイオ工学コース4年
長 内 悠 真	環境都市・建築デザインコース4年
【4年次成績部門】	
上 野 晴 奈	機械システムデザインコース5年
山 一 竜 光	電気情報工学コース5年
小 林 瑠 那	マテリアル・バイオ工学コース5年
織 笠 歩 夢	環境都市・建築デザインコース5年
【専攻科成績部門】	
武 田 一 希	電気情報システム工学コース2年
新 毛 実 結	マテリアル・バイオ工学コース2年

○三ヶ年皆勤賞

機械システムデザインコース	電気情報工学コース	マテリアル・バイオ工学コース	環境都市・建築デザインコース
石 橋 輝	上 柿 聖	角 浜 真 優	石ヶ森 咲 良
小 川 大 智	上 野 陸 斗	柴 田 響 一	石 田 嶺 峰
沢 口 秀 太	大 澤 士 竜	竹ヶ原 陽 斗	小笠原 萌 花
高 木 松 誠	小 川 真 世	千 葉 史 瑛	長 内 涼 花
長 畑 慶 彦	小子内 行 羅	中 野 彩 花	工 藤 大 明
原 颯 杜	北 山 歩 美	成 田 駿	下屋敷 豊
松 本 凌 凱	木 村 和 暉	谷 地 朝 伎	田 口 颯 太
三 浦 雄 斗	沢 井 一 将	渡 邊 七 海	長 畑 冴
水 口 広 太	沢 口 龍 斗		松 本 純 佳
水 梨 椋 太	田 村 公 季		宮 珠 莉
南 舘 拓 実	成 田 牧 穂		
柳 沢 啓 斗	沼 沢 貴 大		
	山 崎 葵 生		
	山 地 龍 生		

第72回 青森県高総体結果

競技種目	会場	結果	備考
【団体の部】			
サッカー部	八戸工業大学第二高校サッカー場	1回戦敗退	
卓球部（男子団体）	五所川原市民体育館	3回戦敗退	
ラグビーフットボール部	あじやら運動公園ラグビー場	Aブロック7位	
バスケットボール部（男子）	マエダアリーナ	2回戦敗退	
バスケットボール部（女子）	マエダアリーナ	2回戦敗退	
【個人の部】			
陸上競技部：男子100m	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	古 市 修 基
陸上競技部：男子200m	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	野 口 滉 稀
陸上競技部：男子200m	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	石ヶ森 涼 介
陸上競技部：男子800m	青森県総合運動公園陸上競技場	準決勝敗退	立 崎 達 也
陸上競技部：男子1500m	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	小 橋 良 真
陸上競技部：男子1500m	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	田 中 大 陽
陸上競技部：男子走幅跳	青森県総合運動公園陸上競技場	2位（東北大会出場）	町 屋 慶 明
陸上競技部：男子円盤投	青森県総合運動公園陸上競技場	13位	前 田 平 大
陸上競技部：男子混成八種競技	青森県総合運動公園陸上競技場	11位	對 馬 惇 史
陸上競技部：女子800m	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	飯 田 璃 咲
陸上競技部：女子800m	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	西 晴 菜
陸上競技部：女子1500m	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	飯 田 璃 咲
陸上競技部：女子1500m	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	西 晴 菜
陸上競技部：女子走高跳	青森県総合運動公園陸上競技場	6位（東北大会出場）	根 城 響 子
陸上競技部：女子円盤投	青森県総合運動公園陸上競技場	9位	福 田 知 子
陸上競技部：男子4×100R	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	
陸上競技部：男子4×400R	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	
卓球部：男子（シングルス）	五所川原市民体育館	3回戦敗退	森 岩 昂 弘
卓球部：男子（シングルス）	五所川原市民体育館	1回戦敗退	金 濱 健太朗
卓球部：女子（シングルス）	五所川原市民体育館	2回戦敗退	樋 口 こころ
柔道部：男子	スポカルイン黒石	1回戦敗退	沼 山 朋 生
柔道部：男子	スポカルイン黒石	1回戦敗退	野田頭 隼 人

第56回 東北地区高等専門学校体育大会結果一覧

令和元年7月5日(金)～令和元年7月7日(日)

団体の部

競技開催校	競技名	大会会場	男子	女子
八戸高専	ハンドボール	八戸市南部山健康運動センター体育館	第2位	
	水泳競技	八戸工業高等専門学校屋外プール	第4位	第4位
一関高専	硬式野球	一関総合運動公園野球場東山球場	第3位	
	バスケットボール	一関市総合体育館	第2位	第3位
秋田高専	卓球	秋田県立体育館	第1位	第2位
鶴岡高専	ソフトテニス	小真木原テニスコート	第2位	
	柔道	朝陽武道館	第3位	
仙台高専 広瀬	テニス	泉総合運動場泉庭球場	第3位	
	剣道	青葉体育館	第4位	第5位
仙台高専 名取	サッカー	松島フットボールセンター	予選敗退	
	バドミントン	名取市民体育館	1回戦敗退	1回戦敗退
福島高専	陸上競技	上荒川公園陸上競技場	第3位	第2位
	バレーボール	男子：医療創生大学（旧いわき明星大学） 女子：内郷コミュニティセンター	第2位	第3位

※全国大会団体出場競技

競技名	全国大会会場	全国大会日程
卓球 男子	鳥取県立米子産業体育館	8月24日(土)～25日(日)
ソフトテニス 男子	岩国市運動公園テニスコート	8月31日(土)～9月1日(日)
バレーボール 男子	呉市総合体育館	8月31日(土)～9月1日(日)

個人の部

競 技 名	種 目 名	クラス	氏 名	成 績	全 国 大 会 日 程
陸 上 競 技	男子200m	M 4	水 口 広 太	第3位	日程：8月17日(土)～18日(日) 会場：エディオンスタジアム広島
	男子400m	M 4	水 口 広 太	第3位	
	男子800m	E 2	立 崎 達 也	第1位	
	男子1500m	C 3	小 橋 良 真	第3位	
	男子4×100mR	Z 3	小 寺 優	第3位	
		M 4	水 口 広 太		
		Z 2	野 口 滉 稀		
		E 1/L 4	町 屋 慶 明		
	男子4×400mR	M 4	水 口 広 太	第3位	
		E 2	立 崎 達 也		
		C 3	對 馬 惇 史		
		Z 3	小 寺 優		
	男子3000mSC	C 3	小 橋 良 真	第3位	
	男子走幅跳	E 1/L 4	町 屋 慶 明	第1位	
男子やり投	M 4	井 筒 将 大	第1位		

第56回 東北地区高等専門学校体育大会結果一覧

個人の部

競 技 名	種 目 名	クラス	氏 名	成 績	全 国 大 会 日 程
陸 上 競 技	女子800m	Z 2	飯 田 璃 咲	第3位	日程：8月17日(土)～18日(日) 会場：エディオンスタジアム広島
	女子4×100mR	C 3	中 島 彩 稀	第2位	
		Z 4	畑 中 祐 香		
		M 2	西 晴 菜		
		Z 2	飯 田 璃 咲		
	女子走高跳	C 2	根 城 響 子	第1位	
	女子走高跳	E 1 /L 3	塚 原 沙 依	第2位	
	女子砲丸投	C 2	福 田 知 子	第1位	
	女子砲丸投	C 2	根 城 響 子	第2位	
	女子円盤投	C 2	福 田 知 子	第1位	
女子円盤投	E 2	新 田 彩 奈	第2位		
柔 道	男子90kg級	C 3	沼 山 朋 生	第3位	日程：8月24日(土)～25日(日) 会場：鳥取県立武道館
	男子90kg級	M 2	野田頭 隼 人	第3位	
	男子90kg超級	M 4	野 田 裕 太	第3位	
	女子	Z 3	赤 石 知 観	第1位	
卓 球	男子シングルス	E 3	森 岩 昂 弘	第3位	日程：8月24日(土)～25日(日) 会場：鳥取県立米子産業体育館
	男子ダブルス	Z 5	畑 中 亮 祐	第2位	
		M 4	原 颯 杜		
	女子シングルス	Z 5	中 山 美 優	第2位	
	女子シングルス	Z 1 /L 1	天 間 琴 心	第3位	
	女子ダブルス	Z 5	中 山 美 優	第3位	
Z 3		樋 口 こころ			
テ ニ ス	男子ダブルス	Z 4	佐々木 駿	第2位	日程：8月21日(水)～23日(金) 会場：宇部市中央公園テニスコート
		Z 4	宮 内 亘 紀		
	男子シングルス	Z 4	佐々木 駿	第3位	
水 泳 競 技	男子 自由形 50m	C 1 /L 3	下 野 直太郎	第2位	日程：8月24日(土)～25日(日) 会場：ひろしんビッグウェーブ (広島市総合屋内プール)
	男子 自由形 100m	C 1 /L 3	下 野 直太郎	第2位	
	男子 自由形 200m	C 4	松 川 和 磨	第3位	
	男子 背泳ぎ 100m	Z 1 /L 3	松 山 慎太郎	第2位	
	男子 バタフライ 100m	M 4	嵯 峨 駿 佑	第3位	
	男子 バタフライ 200m	M 4	嵯 峨 駿 佑	第3位	
	男子 個人メドレー 200m	Z 1 /L 3	松 山 慎太郎	第1位	
	男子 400m リレー	M 4	嵯 峨 駿 佑	第1位	
		C 2	和 田 基		
		C 1 /L 3	下 野 直太郎		
		Z 1 /L 3	松 山 慎太郎		
	男子 400m メドレーリレー	Z 1 /L 3	松 山 慎太郎	第3位	
		E 1 /L 1	森 川 侑		
		M 4	嵯 峨 駿 佑		
		C 1 /L 3	下 野 直太郎		
	女子 平泳ぎ 100m	C 2	佐々木 一 乃	第3位	
	女子 バタフライ 100m	Z 5	梶 本 知 里	第1位	
	女子 個人メドレー 200m	Z 5	梶 本 知 里	第3位	
	女子 200m リレー	Z 5	梶 本 知 里	第3位	
		C 2	佐々木 一 乃		
		Z 1 /L 4	市 島 幸 奈		
		C 5	中 岫 綾		
	女子 200m メドレーリレー	Z 5	梶 本 知 里	第3位	
		Z 1 /L 4	市 島 幸 奈		
		C 2	佐々木 一 乃		
		C 5	中 岫 綾		

授業料等の納付について

後期分授業料の口座振替を、10月28日（月）に行います。（就学支援金額未決定者、授業料免除申請者を除く）

寮生は、10月～3月の寄宿料及び学寮運営費も併せて振替になります。

金額を確認のうえ、振替日前日までに届出口座にご準備ください。

単位：円

授業料		寄宿料		学寮運営費		振替 手数料
1～3年	4年～	複数室	個室・ 国際寮	男子寮・ 女子寮	国際寮	
117,300						
※1 57,900	117,300	4,200	4,800	63,300	84,600	※2 66

※1 就学支援金受給対象者の例（加算支給なしの場合）

※2 消費税増税に伴い手数料が変更となる可能性があります。

授業料等を期日（前期分9月、後期分3月）までに納付しない者は、授業料等未納により除籍などの処分になる場合がありますので、ご注意ください。

【問い合わせ先】総務課財務係 TEL 0178-27-7228

学生課学生係からのお知らせ

2019年度後期授業料免除（4年生以上）の申請受付期間は以下のとおりです。

- ・申請受付期間 9月2日（月）～9月27日（金）（土・日・祝日および学校閉鎖期間を除く8：30～17：00まで）
- ・申請期間以降の受付はできません。必ず期間内に申請してください。また、申請書類に不備がないよう提出前に確認してください。

なお、前期申請時に後期分も申請した学生は提出不要です。

3年生以下については、高等学校等就学支援金制度があるため、次の場合に限り申請を受け付けます。

- ・納期前6月以内に、主たる学資負担者が死亡または風水害等の災害を受けた場合

【授業料免除等に関する問い合わせ先】

学生課学生係 TEL：0178-27-7235

令和元年度 公開講座

- (1) 環境都市・建築デザインコース公開講座
シリーズー住まいのデザインー
日 時：6月1日（土）
対 象：中学生、保護者、中学校教員、一般
- (2) 環境都市・建築デザインコース公開講座
シリーズー建築模型をつくるー
日 時：7月13日（土）
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- (3) ロケットはなぜ飛ぶか
～PETボトルロケットコンテスト～
日 時：7月13日（土）
対 象：小学生
- (4) 環境都市・建築デザインコース公開講座
シリーズー水の環境調査ー
日 時：8月24日（土）
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- (5) 環境都市・建築デザインコース公開講座
シリーズーブリッジコンテストー
日 時：8月31日（土）
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- (6) メカnoワールド体験塾 Aコース
日 時：9月7日（土）
対 象：中学生、中学校教員
- (7) ジュニアロボット教室
日 時：9月28日（土）
対 象：小学5年生以上、中学生
- (8) 化学の学校
～マテリアル・バイオ工学の世界へようこそ～
日 時：9月29日（日）、10月6日（日）
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- (9) メカnoワールド体験塾 Bコース
日 時：11月2日（土）
対 象：中学生、中学校教員